

# 平和な世界を願って

2002年が始まった。21世紀がスタートした昨年は、米・同時多発テロ事件とアフガニスタン空爆、さらにイスラエルとパレスチナの衝突と、平和の幕を引けられた。今年こそ「平和な年」と願う人は多いはず。でも、私たちに何ができるのだろうか。県内には国際貢献のためにさまざまな活動をしている子供たちがいる。その声を耳を澄ませてみよう。

【柿沼秀行、宮崎泰宏】



大きな模造紙に絵を描いて楽しく過ごす外国と日本の子供たち。子供たちの交流を通じて新しい平和が見えてくる

## みんなが助け合うことから

岡山市立平福小6年

片山陽子さん(12)

テロ事件の後、ニューヨークの子供たちがショックを受けて傷ついているというニュースを見て、かわいそうだと思いました。早速クラスのみ



かアザラシとか、楽しい

## いじめや犯罪も「戦争」

岡山市立

岡山後楽館中3年

三宅幸子さん(14)

国際理解部の部活動でカンボジアの孤児院の子供たちを支援するボランティアに参加しました。ビデオレターも編集中。



友だち同士でよく手紙を書きますが、カンボジアの同じ年代の人とも同じ

## 平等な世の中こそが平和だ

加茂川町立

加茂川中3年

笹井和寛君(16)

卒業生が在学中に使っていたリコーダー約60本を何かに役立ててもらおうと、生徒7人でフィリピンを訪ね、子供たちに贈りました。現地では、レストランの出入り口に



銃を持った警官が立ち、複数のバケツを抱えた女性、ポンプで生活水をくみ上げているなど、人々の生活は満足とは言えない

## 他者の価値観認めることを

岡山白陵高2年

岩岡寛人君(17)

A M D A 高校生会の活動に参加しています。募金活動をしてみて、長時間街頭に立ち、時間を割くのはつらいことです。しかし、喜んでいる子供たちの笑顔を思い浮かべ



たどると、自分の喜びでもあることに気付かされる。道徳的な行為は本来、打算的なものではないこ

昨年11月、県内の高校で話を合う姿は真剣です。小さいことから生たちが平和を求め、自らのもの。子供たちからのゆっくりと実践すること分たにできること何となく平和に向けたメッセージとが大切だと思うと、かを探る岡山でも平和を募集している。

和の声が設立された。メンバーの一人、岡山 今のところ、アフガニスタンへ向けた募金や、小学校活動に取り組んでいる岡山17は「核兵器の廃絶」を掲げ、小学校山学芸館

## 「平和の声」高校生アピール

の授業の中に平和

理科大付高、就実高など運動などは、以前から参加教育をほっきの位置付の生徒約20人。具体的な加してみたいと思っけたカリキュラムの導入プロジェクトは今後決めました。そこへあの悲惨を県教委などに要望していくが、「平和って必要なテロ事件が起きましている。問い合わせは、子供たちの力で平からないけど、何か岡山NPO共同事務所和な世の中にできないだしないといけない。そう(0866・2260・62)るか」といった問題も思っ立ち上がった会(34)へ。

絵を描いて、「がんばっ

て」と書いたメッセージカードを送りました。どんな役に立つかわからないけど、みんなが助け合うことから始まって、だんだんいろんなことが協力できるようになって平和な世の中ができると思う。だから、困っている人がいたら助けてあげたい。

ように手紙のやり取りをして心が通じ合えるといいです。日本は確かに戦争がなく、カンボジアに比べれば平和な国です。でも、いじめや犯罪は小さな戦争ではないでしょうか。一人一人がもっと他人を思いやる気持ちを持てば、もっと平和になれるはずですよ。

ませんでした。そんな中、ホームステイ先では家族のように接してもらい、子供たちは贈ったリコーダーで一生懸命演奏してくれ、感激でいっぱいでした。罪がない人までも傷つける戦争がなくなくなり、弱者や強者の差別がなく、世界中のみんなが平等な世の中こそが平和だと思えます。

とが分かりました。思い通りに行かずに不満足な状況というのは誰にでもあると思いますが、相手の価値観を認めて、違つところを認識することが平和につながるのだと思います。みんなが他者の「常識」を認められるキヤパシティを持ってほしい。

